

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
----	-------	------	------	------

公1 絵本美術館の設置運営

ア 絵本等に関する展覧会、講演会、ギャラリートーク等の開催

■ちひろ美術館・東京での展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【いわさきちひろ展】	ちひろ いつもとなりに—子どもと動物—	小さな生きものをいつくしむ子どもたちの姿を、ちひろはやさしいタッチで表現した。本展では、小鳥や犬、猫など身近な動物とふれあう子どもたちを描いた作品を、ちひろの動物にまつわる思い出とともに紹介するほか、絵本に登場する鳥たちの姿にも注目する。	3月1日(日)～5月10日(日)	ちひろ美術館・東京
	いわさきちひろ「とても素朴なんだけれど大切なもの、それが絵本の中にはあるんです。」	ちひろは生前、エッセイやインタビュー、日記や手帳などに数々のことばを残した。そこには、創作への信念や日々の暮らし、家族への思いなどがつづられている。本展では、ちひろのことばを手がかりに、折々のスケッチや絵本『あめのひのおるすばん』『戦火のなかの子どもたち』などを展示し、ちひろの人物像や画家としての軌跡を紹介する。	5月15日(金)～7月20日(月・祝)	ちひろ美術館・東京
	ちひろ 子どもは平和のシンボル	ちひろ美術館の初代館長・飯沢匡は、「ちひろが子どもの姿を描き続けたのは、子どもが『平和』のシンボルに他ならないからだ」と語っている。本展では、ちひろが生涯描き続けたテーマ「子ども」に着目し、そこに込められた想いや背景を、ちひろのことばとともに紹介し、あらためて平和の意味について考える機会とする。	7月25日(土)～10月25日(日)	ちひろ美術館・東京
	ちひろ 旅のたのしみ	絵を描くことの次に旅が好きと語っていたちひろ。いつも携えていたスケッチブックには、美しい景色や、慌ただしい生活を離れゆっくり向き合った息子の姿など、旅先での感動が記されている。スケッチや写真とともに、各地をその足で歩いた画家ならではの描写がみられる作品を展示し、ちひろの旅の思い出をひもとく。	10月30日(金)～2027年1月31日(日)	ちひろ美術館・東京
【世界の絵本画家コレクションの展示】	ちひろ美術館コレクション 魔法の絵本=絵本の魔法	「魔法」をテーマにちひろ美術館のコレクションの一部を展示する。『アラジンと魔法のランプ』などよく知られている物語をはじめ、世界各国の絵本のなかに描かれた魔女や魔法使いに注目する。そのほか、絵本独自の魔法の表現も紹介する。展示を通して、日常から離れてファンタジーの世界を体験できる絵本の豊かさを伝える。	5月15日(金)～7月20日(月・祝)	ちひろ美術館・東京
【企画展】	生誕120年『てぶくろ』の画家ラチョフと民話絵本の世界	ウクライナ民話絵本『てぶくろ』で知られるエフゲーニー・ラチョフ(1906-1997)は、民族衣装を着た動物が登場する民話絵本で活躍した画家である。本展では、生誕120年を記念して、ちひろ美術館コレクションのなかから、ラチョフの全作品を展示する。また、ラチョフが生きた激動の時代のロシアの絵本の歴史をひもとくとともに、色あせない魅力を放つ東スラブの民話絵本の世界を紹介する。	3月1日(日)～5月10日(日)	ちひろ美術館・東京
	武田美穂展 絵本づくりはドキドキなのだ!	子どもの心に寄り添い、親しみあふれる絵本を描き続けている絵本作家・武田美穂。本展では、『となりのせきのますだくん』をはじめ、リズムカルなことばで楽しく料理が進行する『オムライス ハイ!』、作家・那須正幹の遺稿をもとに戦争と平和を見つめなおす『やくそく』などの原画とともに、絵本制作のための資料も展示し、多彩な表現と人気のひみつを探る。	7月25日(土)～10月25日(日)	ちひろ美術館・東京
	没後70年 茂田井武とパリの画家たち—Parisの破片—	1920年代から30年代にかけて、多くの画家が芸術の都パリを訪れ、創作活動に取り組んだ。茂田井武(1908-1956)も青春時代にパリに憧れ、1930年から3年にわたる世界放浪の旅に出た。本展では当時パリに集った画家たちの作品とともに、茂田井の欧州滞在中の3冊の画帳や旅の記憶をもとにした作品を紹介する。	10月30日(金)～2027年1月31日(日)	ちひろ美術館・東京
【講演会】	松本猛講演会「ラチョフと絵本『てぶくろ』の魅力」	展覧会「生誕120年『てぶくろ』の画家ラチョフと民話絵本の世界」に関連して、ラチョフを知る松本猛による講演会を行う。	4月11日(土)	ちひろ美術館・東京/オンライン
	高橋真樹講演会「もしも君の町が…」	展覧会「ちひろ 子どもは平和のシンボル」に関連して、『もしも君の町がガザだったら』の著者である高橋真樹による講演会を行う。	10月4日(日)	ちひろ美術館・東京/オンライン
	高橋明也講演会「1920-30年代のパリの画家たち(仮)」	展覧会「没後70年 茂田井武とパリの画家たち—Parisの破片—」に関連して、美術史家である高橋明也の講演会を行う。	展示会期中	ちひろ美術館・東京/オンライン
【ギャラリートーク】	松本猛ギャラリートーク	いわさきちひろの息子・松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。	4月12日(日)、6月14日(日)、8月2日(日)、11月29日(日)	ちひろ美術館・東京
	学芸員、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら学芸員や普及担当者が解説する。	月2回(第1・3土曜日)	ちひろ美術館・東京
■安曇野ちひろ美術館での展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【いわさきちひろ展】	ちひろ 心のふるさと 信州	ちひろにとって信州は、終戦を迎えた場所であり、多くの作品を生み出し、家族と団らんのときを過ごした「心のふるさと」である。本展では、信州で描いた絵本『花の童話集』『万葉のうた』『あかまんまとうげ』などの作品を、アルバムに残された信州での写真や松川村など信州各地のスケッチとともに展示し、ちひろと信州の関わりを紹介する。	3月1日(日)～6月7日(日)	安曇野ちひろ美術館
	トットちゃん広場10周年 「みんな、いっしょだよ。」	ちひろの絵で愛されてきた、黒柳徹子の自伝的物語『窓ぎわのトットちゃん』。安曇野ちひろ公園(松川村営)のトットちゃん広場オープン10周年にあわせ、トモ工学園の「みんな、いっしょだよ。」の精神を、ちひろの作品とともにみつめ直す。また館内では、トットちゃん広場のこれまでの歩みを紹介する。	6月12日(金)～9月6日(日)	安曇野ちひろ美術館
	いわさきちひろと堀文子 童画の世界	いわさきちひろと堀文子はともに1918年に生まれ、激動の昭和の時代を生きた同世代の画家である。ともに青春時代を戦争のなかで過ごし、戦後の復興のなかで児童出版の発展に大きな足跡を残した。本展では、ふたりの絵と人柄を愛する黒柳徹子(ちひろ美術館館長)の視点も交えながら、いわさきちひろと堀文子の童画家としての仕事を紹介する。	9月11日(金)～12月15日(火)	安曇野ちひろ美術館
	子どもの展示室「トットちゃんの部屋」	『窓ぎわのトットちゃん』に登場する電車の教室の一部再現や、ちひろの絵で楽しむトットちゃんの物語、トモ工学園の紹介など、トットちゃんの世界を子どもたちの目線で楽しむことのできる展示を行う。	通年	安曇野ちひろ美術館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
【世界の絵本画家コレクションの展示】	ちひろ美術館コレクション 世界に生きる動物たち	ちひろ美術館コレクションのなかから、世界各地の森や島々に生息する動物が描かれた作品を紹介する。絵本画家たちのなかには、動物を好んで描いた画家や、何度も自然のなかに足を運び、スケッチや記憶を頼りに制作した画家がいる。さまざまな動物が登場する作品を楽しむとともに、画家と動物の関係を知る展示とする。	3月1日（日）～6月7日（日）	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 星の下の物語	ちひろ美術館のコレクションのなかから「星」をテーマに作品を展示する。星が主役の絵本もあれば、登場人物を見守るように星を描いたものもある。夜空をながめる機会も増える夏、絵のなかの星々に注目する。	6月12日（金）～9月6日（日）	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 波にゆられて舟の旅	ちひろ美術館のコレクションのなかから、舟が描かれた作品を展示する。絵本には小さな舟や大きな船、川や海に適したさまざまなデザインの舟が登場する。舟で世界を旅するように各地の絵本を紹介する。	9月11日（金）～12月15日（火）	安曇野ちひろ美術館
【企画展】	96才、画家。ユゼフ・ヴィルコン。 —ポーランドの巨匠—	ポーランドで、96歳の今も現役の画家として活動を続けるユゼフ・ヴィルコン。動物たちを主人公にしたその絵本は、日本でも半世紀にわたり愛されてきた。本展では、130点を超えるコレクションのなかから、1960年代から90年代までの絵本や立体作品を、技法に注目して紹介する。また、写真やことば、近年の映像などを通して、ヴィルコンの人としての魅力を伝える。	3月1日（日）～6月7日（日）	安曇野ちひろ美術館
	ようこそ！ザ・キャビンカンパニー新収蔵作品展 —がっこうにまにあわない・ゆうやけにとけていく—	大分出身の阿部健太郎（1989-）と吉岡紗希（1988-）のふたりによるユニット「ザ・キャビンカンパニー」。彼らが描き出す世界は、豊かなイマジネーションと画面に満ち溢れるエネルギーで私たちに魅了する。本展では新規収蔵作品である絵本『がっこうにまにあわない』『ゆうやけにとけていく』を資料を交えて展示し、彼らの作家性にせまる。	6月12日（金）～9月6日（日）	安曇野ちひろ美術館
	絵本の舞台を求めて 赤羽末吉の日本一周	赤羽末吉（1910-1990）の絵本は、旅と切り離せない。雪国に魅せられて東北をめぐり、最初の絵本『かさじぞう』が描かれた。以後も日本各地の民話や、源平合戦などの歴史の舞台、日本の神話の舞台などを取材し、北海道から沖縄まで、日本全国を歩いている。本展では赤羽の旅と絵本との関連をひもとき、絵本制作の姿勢も紹介する。	9月11日（金）～12月15日（火）	安曇野ちひろ美術館
【絵本の歴史展示】	絵本の歴史	「死者の書」や時禱書、絵巻物から現代の絵本にいたるまで当館のコレクションをもとに絵本とイラストレーションの歴史を、「手描き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代（印刷本）」に分けて紹介するほか、「戦時下の子どもの本」も展示する。	通年（会期ごとに入れ替え）	安曇野ちひろ美術館
【講演会】	松本猛講演会「ちひろと旅する信州」	展覧会「ちひろ 心のふるさと 信州」に関連して、いわさきちひろの息子・松本猛が講演会を行う。	展示会期中	安曇野ちひろ美術館／オンライン
	赤羽茂乃講演会「赤羽末吉の旅と絵本（仮）」	展覧会「絵本の舞台を求めて 赤羽末吉の日本一周」に関連して、赤羽末吉の家族であり、評伝の著者でもある赤羽茂乃が講演会を行う。	展示会期中	安曇野ちひろ美術館／オンライン
【ギャラリートーク】	松本猛ギャラリートーク	いわさきちひろの息子・松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。	年3回	安曇野ちひろ美術館
	学芸員、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら学芸員や普及担当者が解説する。	月1回（第3土曜日）	安曇野ちひろ美術館
	学芸員によるスライドトーク	開催中の展示の見どころ等を、スライドを用いて展示担当者が解説する。	随時	安曇野ちひろ美術館
<b>■他館と提携する展覧会、講演会、ギャラリートーク等</b>				
【展覧会】	ピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展	ピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展を、開催希望自治体、団体、施設と協力して行う。	通年 秋	「ちひろの生まれた家」記念館（福井県越前市） ミツカンミュージアム（愛知県半田市）
	他館での展覧会への作品の出展	他館からの求めに応じて、他館での展覧会へ当館所蔵作品を出展する。	随時	
【ギャラリートーク】	学芸員によるギャラリートーク等	開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら学芸員が解説する。	随時	

#### イ 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究

作品・資料の収集	絵本原画、関連資料等の収集	未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本原画、関連資料等の収集を進める。	通年	両館
	絵本と絵本の歴史資料の収集	未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集を進める。	通年	両館
	絵本、関連書籍等の収集	優れた芸術性を持つ、魅力的な絵本の収集を進める。コレクション画家の手がけた絵本資料の収集を進める。	通年	両館
作品・資料の保存	作品・資料の保存管理	絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品整理を進める。	通年	両館
	作品・資料のデジタル・アーカイブズ	いわさきちひろと世界の絵本画家の作品・資料のデジタル・アーカイブズを、災害時対応にも備えつつ、進める。	通年	両館
	作品・資料の修復	必要に応じて作品や資料の修復を行う。	随時	両館
作品・資料の調査・研究	コレクション作家等の調査・研究	2027年の開館50・30年に両館で開催する展覧会、エリック・カール美術館など他館と提携して行う展覧会も視野に入れながら、コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進める。	通年	両館
	作品・資料等のアーカイブズ	作品、図書、遺品、その他資料のデータ整備ならびにデータベース登録を進め、展示やさまざまな企画等の充実と合理化を進める。2027年の開館50・30年の周年誌編纂にむけ、当財団のこれまでの活動記録を整理し、デジタル化を進める。	通年	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
作品・資料の調査・研究	絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	絵本とイラストレーションの歴史に関する資料の整理、調査・研究を進める。	通年	両館
	絵本等に関する調査・研究	新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について、外部の研究者とも連携しながら調査・研究を進める。	通年	両館
	研究成果の公開 公式サイトでの作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、公式サイトで公開し、国内外にむけて発信する。	通年	両館
	研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行（展示会期ごと）	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、展覧会にあわせて発行する「美術館だより」や公式サイトを通じて公開する。	通年	両館

#### ウ 絵本等に関する教育活動

ワークショップ・講座の開催	ワークショップ ちひろの水彩技法体験	ちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。	随時	両館
	展示関連 教育普及プログラム	展示関連企画として、展示会期ごとに、教育普及プログラム・ワークショップを実施する。	年4回	ちひろ美術館・東京
			年2回	安曇野ちひろ美術館
			展示会期中	安曇野ちひろ美術館
	親子で楽しむ文化講座 わらべうたあそび	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象に、わらべうたあそびの会を開催する。（講師：服部雅子・西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰）	年4回	ちひろ美術館・東京
	特別鑑賞デー	障害のある方などを対象に、一般来館者のいない休館日にゆったりと鑑賞できる日を設ける。	年2回	ちひろ美術館・東京
	ファーストミュージアムデー	乳幼児とその保護者を対象に、ファーストミュージアムのプログラムを開催する。	11月19日（木） 年2回	ちひろ美術館・東京 安曇野ちひろ美術館
	ちひろの絵による『窓ぎわのトットちゃん』ワークショップ	『窓ぎわのトットちゃん』のさまざまなエピソードに関連したワークショップ等を、地域の人々の協力も得て、開催する。	随時	安曇野ちひろ美術館・安曇野ちひろ公園
ちひろ忌	ちひろが亡くなった8月8日にあわせてギャラリートーク等を行い、ちひろの業績や人生を伝えとともに、世界中の子どものしあわせと平和を願ったちひろの思いを、来館者とともに考える機会とする。	8月8日（土）	両館	
学校との提携活動	地元中学校との提携活動—中学生ボランティア	キャリア教育の一環として、松川中学校と連携し中学生ボランティアを育成、来館者を対象にした当館での体験ワークショップ等の活動を行う。	夏休み期間中	安曇野ちひろ美術館
	出前授業、出前講座	ちひろの画業や絵の魅力を伝え、その技法を体験するワークショップを含めた出前授業、出前講座を、学校等に出向いて実施する。	随時	
	学校団体への各種教育プログラム	授業で来館する学校に対し、開催中の展覧会の鑑賞教育をはじめ、各種教育プログラムを行う。	随時	両館
	スクールミュージアム	来館できない学校の生徒が、ちひろの作品を鑑賞できるよう、長野県内の希望校を対象に、複製画等の貸し出しを行う。	随時	
	教員向け内見会・内見週間の開催	教員を対象とする内見会・内見週間を開催、博学連携の活動を行う。	随時	両館
	職場体験実習・博物館実習生・インターン生の受入	練馬区近辺、松川村近辺の中学・高等学校からの職場体験実習を受け入れ、美術館業務の体験を提供して博学連携の活動とする。また、全国の大学で学芸員課程を受講している学生から、当館で博物館実習を希望する者を受け入れる。	随時	両館

#### エ 絵本等に関する普及活動

絵本等の公開・閲覧	両館での絵本図書室・絵本カフェによる絵本の公開・閲覧	長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本図書室・絵本カフェ等での閲覧に供する。	通年	両館
絵本等の紹介活動	コレクション画家をはじめ、世界の優れた絵本画家たちの絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読み聞かせ指導、読書指導	当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、公式サイト等で紹介、普及、頒布するほか、絵本の選び方や読み聞かせの方法等、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適宜、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、日々の暮らしのなかで身近に絵本を楽しめるよう支援していく。	随時	両館
読み聞かせ会	絵本のじかん（絵本の読み聞かせ）、絵本の広場等の開催	絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれで、定期的に絵本の読み聞かせ会を開催する。また同様に、学校・保育園等の団体鑑賞の希望に際して、読み聞かせを行っていく。	随時	両館
地域・団体との提携による複製画展	各地の自治体、地域、団体との提携による、複製画展等の開催	各地の自治体、地域、団体等の求めに応じて、複製画展や関連の講演会を開催するとともに、絵本に親しむ機会を設け、読み聞かせ会等を実施する。	随時	
	施設・団体・学校との提携による、平和のパネル展の開催	ちひろの平和への願いを伝えるために、平和の絵本2冊のパネルを、希望する施設・団体・学校に貸し出す。	随時	

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
病院との提携活動	季節ごとの病院院内展示・ワークショップの開催	来館が難しい患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設ける。求めに応じて、院内での読み聞かせ会、水彩技法体験ワークショップ等を実施する。(含むオンラインでの開催)	随時	東京女子医科大学病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、埼玉医科大学総合周産期母子医療センター、国立成育医療研究センター、同センター医療型短期入所施設「もみじの家」、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、聖マリアンナ医科大学病院

#### オ 絵本等に関する国際交流

海外における展覧会・講演会、ワークショップ	海外における、ちひろや日本の絵本展ならびに教育普及活動の展開	2026年5月のAFCC (Asian Festival of Children's Content) の日・シンガポール外交関係樹立60周年の展覧会と、2027年のエリック・カール美術館 (アメリカ) 開館30周年・ちひろ美術館開館50周年を記念した交換展、教育普及活動にむけた準備を進める。	随時	両館
海外からの研修受入と交流	絵本画家ローラ・カーリン講演会、ワークショップ	国際的な絵本賞を受賞しているイギリスの絵本画家ローラ・カーリンが自身の創作について語る講演会と、ワークショップを行う。	9月	安曇野ちひろ美術館／オンライン
	海外の絵本関係者の研修・交流	海外の絵本画家や編集者など絵本関係者を対象に、求めに応じて絵本に関する研修を受け入れる。あわせて地元の子どもたちとの交流を行い、相互理解と、絵本文化の普及・発展を促進する。(含むオンラインでの実施)	随時	両館
海外の関係機関とのネットワーク	コレクション画家たちとの交流	当館の開館50周年に向け、海外のコレクション画家たちや、その遺族たち、そして絵本画家たち全般との積極的な交流を通じて、絵本文化の普及と発展を促進する。(含むオンラインでの実施)	随時	両館
	館の多言語情報のより多面的な発信とコンテンツの充実	さまざまな国や言語の来館者に対応すべく、ちひろの人生やことば、そして展覧会を中心とする当館の活動紹介を、印刷物、公式サイト、SNS、動画コンテンツなどの媒体を通して、魅力的効果的に多言語で発信する。	随時	両館
	絵本や子どもの本の専門機関との提携活動	絵本や子どもの本の国際的専門機関であるIBBY (International Board on Books for Young People)とその日本支部のJBBY、シンガポールのAFCC、インドネシアのTacita (Pesta Cerita Anak, Indonesian Children's Story Festival)、スロヴァキアのBIB (Biennale of Illustrations, Bratislava) 等、ならびに日本国内の絵本学会、絵本ミュージアムネットワーク等との交流を深め、絵本文化発展のための交流、相互協力を努める。	随時	両館
	絵本美術館との連携強化	国を超えた絵本美術館ネットワークづくりのため、エリック・カール美術館 (アメリカ) をはじめとする海外の絵本美術館や絵本図書館等と、絵本を通じた交流を推進する。	随時	両館

#### カ 絵本等に関する支援活動

絵本の専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援	絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団コレクションの絵本原画、絵本、資料を活かして研究や活動を支援していく。	随時	両館
	絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援	絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布	鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、配布するとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して鑑賞を助ける。(含むオンラインでの配信)	随時	両館
	館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ等への支援	絵本の問い合わせ等に随時対応する他、来館者を対象に、求めに応じて、絵本の紹介や、読み聞かせの方法等についてアドバイスを行う等、支援していく。(含むオンラインでの配信)	随時	両館
	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本を楽しめるよう支援していく。	随時	
	展覧会鑑賞のアクセシビリティ向上	日本語を母語としない方や、視覚・聴覚障害をお持ちの方を対象に、スマートフォンからの音声や文字情報による解説を多言語で提供し、利用者のニーズに応じていく。また、障害者手帳提示の方と介添え1名までの入館料を無料とするなど、様々なニーズを持つ来館者の展覧会鑑賞を支援するためのアクセシビリティ向上を進める。  手話を主要なコミュニケーション手段とする方(ろう者、難聴者、中途失聴者等)を対象に、手話通訳つき対話型ギャラリートークを開催する。(東京芸術文化鑑賞サポート助成事業)	随時  4月4日(土)、6月6日(土)	両館  ちひろ美術館・東京
地域の子育て支援団体との提携活動	地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の子育て支援団体や保護者らのグループ等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本を楽しめるよう支援していく。(含むオンラインでの配信)	随時	

#### 収1

その他この法人の目的を達成するために必要な活動	ミュージアムショップの運営	来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行う。	通年	両館
-------------------------	---------------	--	----	----